

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	33123	電話	042-769-8249
担当部課名	都市部	都市交通計画	課	バス交通対策 班
事務事業名	バス活性化事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	利便性の高い公共交通網の確立をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	利便性の高い公共交通網の確立	63以前年度
施策名	第2施策	利便性の高い公共交通網の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市バス利用促進等総合対策事業補助金交付要綱 自動車事故対策費補助金交付要綱(国)・公共交通移動円滑化設備整備費補助金交付要綱(国)

3 事務の区分

4 経費の区分

5 事務事業の分類

6 受益者負担

自治事務	投資的経費	市単独事業	なし
------	-------	-------	----

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
バス利用者の利便性の向上に資するため、路線バス事業者が実施するバス活性化事業等に対し、整備等に要する費用の一部について補助(国との協調補助を含む)を行う。本事業を実施することにより、路線バスの利便性、快適性を高め、バス利用者を増やすことにより、生活交通としてのバス路線の確保を図ると共に、マイカーからの転換を促進する。	一般市民 対象数
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
相模原市バス利用促進等総合対策事業補助金交付要綱に基づき、バス事業者に対し補助金を交付した。 ・ノンステップバス導入事業(国との協調事業) 導入台数2台 補助額2,922千円 ・乗り場案内板設置事業 設置箇所 淵野辺駅自由通路 補助額378千円 ・照明式バス停留所標識設置事業 設置箇所 淵野辺駅北口駅前広場 補助額300千円 ・バス停留所上屋設置事業 設置箇所 古清水、宮下三丁目 補助額1,200千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	相模原市バス交通対策基本計画
計画年次	15年度～32年度
	基本計画：バス活性化計画(平成14年策定・15年度実施) (2)既存施策の継続的な実施 (3)今後取り組み方針を検討する施策

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	整備率	$\text{整備数} \div \text{整備予定数} * 100$	整備率から整備の達成状況を見る	12	13	14	15	16
				100	100	100	100	100
活動指標	乗車率	$\frac{\text{1日平均輸送人員}}{\text{平成4年度1日平均輸送人員}} * 100$	乗車率からバス利用者の推移を見る	78	77	77	77	77

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	5,130	2,488	4,102	2,874	2,874
人員・時間数	1人・5日	1人・5日	1人・7日	1人・7日	1人・7日
人件費	163	163	225	225	225
その他経費					
合計	5,293	2,651	4,327	3,099	3,099
特定財源					
対象数					
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input type="checkbox"/>	高	<input checked="" type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	整備予定を達成した。						
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている						
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある バス交通の利便性を高め、活性化を図ることにより、環境への負荷を減らすと共に、バリアフリー化を進め、誰もが使い易いバス交通を目指す必要がある。						
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C：有効ではない		本事業は、バス待ち環境を改善し、利用しやすさの向上を図るもので、マイカーからの転換を促進することにより、環境負荷の低減、渋滞の解消等に直接寄与する事業である。						
		説明							
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている						
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 本事業は、バス事業者の実施する事業に対し、補助金の交付を行うものであるが、整備内容がバス事業に特化したものであることから需要が限られており、整備コストの削減について、課題が残るものとする。						
(5)公平性 評価 B ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C：公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明	整備箇所のバス路線を利用する人は沿線住民が主で、整備が進むまでは、他の地域の方が利用する機会が限られてしまう。						
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額						
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 実施事業を着実に推進するとともに、バス交通のPRや、市民との協同による、バス活性化に向けた取り組みが必要である。		手段						
			削減額	千円					

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 バス活性化事業の推進により、生活交通であるバス路線が失われるのを防ぐと共に、マイカーからの転換を促進し、環境への配慮や、渋滞の解消に資する事業である。また、本事業と併せて、バス路線網再編や、TDM(交通需要マネジメント)施策の推進など、総合的な取り組みが必要であると考える。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--